

令和5年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称		稲倉の里農村交流館			
指定管理者名		稲倉の棚田保全委員会		料金制導入区分	利用料金
指定管理期間		令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日 （ 5年間 ）			
施設所管課		産業振興部			

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

			項目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入						
		計	0	0	0	0		
		支出	光熱水費	269440	250,000	400,000	360,000	
			通信運搬費	106361	100,000	170,000	100,000	
			使用料・賃借料・施設点検	30000	0	30,000	30,000	
			備品等購入費			400,000	396,001	
	計		405,801	350,000	1,000,000	886,001		
	差引		△ 405,801	△ 350,000	△ 1,000,000	△ 886,001		
	自主事業	収入	農産物売上	2755424	3,237,801	3,300,000	4,601,473	
			補助金等、オーナー会費等	9038569	13,827,392	15,000,000	14,909,657	
			その他	5369722	5,721,149	3,313,341	13,975,516	借入金360万円
			計	17,163,715	22,786,342	21,613,341	33,486,646	
		支出	棚田保全事業	1.1E+07	18,127,389	16,950,000	18,277,607	
			都市農村交流事業	1842952	3,024,957	2,500,000	4,477,658	
			その他	2400658	1,170,655	0	4,172,752	借入金返済ほか
			計	15,569,423	22,323,001	19,450,000	26,928,017	
差引		1,594,292	463,341	2,163,341	6,558,629			
市		歳入						
	計		0	0	0	0		
	歳出							
		計	0	0	0	0		
		差引		0	0	0	0	
総合計			1,188,491	113,341	1,163,341	#####		

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判 断 基 準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。 責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
		条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○
		収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	
	支出の状況	収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。 施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	○
		管理費用の執行状況は適正か。	○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	◎
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	◎
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	○
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	
		就業規則が適正に整備されているか。	
		36協定が適正に締結されているか。	
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	
		賃金の管理は適正か。	
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	
		安全衛生の管理体制は適正か。	
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の取り組みに対する評価	
①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み	一般の方に足を運んでいただくために、色々な情報源を活用し棚田を知っていただく事に努めて参りました。 保全委員会メンバーがお客様に棚田について説明できるよう講習会を開きました。 季節ごと変わりゆく棚田の風景を見ていただきリピーターを増やしていきたいと思ひます。
②経費節減に対する取り組み	館内の電気管理について、昼休み時間の照明は消灯に努めております。 冬季期間の暖房は棚田の保全管理で伐採した立木を活用し、薪作りをして薪ストーブに利用しています。
③その他	来客等の安全確保のため、駐車場の整備を進めております。 オーナーや農業体験者の増加に伴い“安全・安心”を基本とし、棚田の景観を保つための美化・草刈り・農道等の整備に取り組んでいます。
(2)指定管理業務実施上の課題	
近年の温暖化の影響で、夏季期間は農村交流館内の気温も高い日が続きます。事務の効率化、熱中症対策、来客時の対応に辺り、エアコン等の設置をよろしくお願ひいたします。 また、イベント・農業体験の受入時や観光客の増加に伴い、水洗トイレの増設をお願ひしたいと思っております。	
(3)次年度以降の取り組み	
農業農村支援センターによる保全委員会メンバーへの農作業の講習会を年4～5回で開催予定です。 農閑期には保全委員会メンバーで他棚田へ出向き研修を予定しております。	
(4)その他	
①利用者からの主な意見、苦情及び対応等	棚田ノートを活用しお客様から意見をいただき、運営の見直し等の参考にしていきます。
②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)	